

2015年(平成27年)

10月10日

土曜日

CENTRAL SPORTS

第11回大阪阪南1年生親善大会

VS 滋賀栗東ボーイズ

IKOMA 山田ラトルスボーイズ 2015

「にしごり」じゃないよ!

にしごり 錦織

テンポ良い投球で無四球完投勝利!



【準々決勝】滋賀栗東ボーイズに勝利し準決勝進出! 平成二十七年十月十日、第11回大阪阪南1年生大会の準々決勝は、滋賀栗東ボーイズと対戦。二回に先制した生駒中央は三回に追いつかれるものの、終盤の四回に行こうに猛攻を見せ8対1で滋賀栗東を降し準決勝進出を決めた。

終盤猛攻を見せ圧倒勝利!

大阪阪南1年生親善大会 球場:江輪グラウンド

チーム名	一	二	三	四	五	六	計	H	B	E
Ikoma Club	0	1	0	2	3	2	8	11	3	3
滋賀栗東	0	0	1	0	0	0	1	6	0	0

吉住決勝三塁打!

大阪阪南1年生大会の準々決勝、滋賀栗東ボーイズと対戦。先攻の生駒中央は初回を三人で攻撃終了。静かなスタートとなった。一方、先発投手は、公式戦初登板初先発の錦織。その錦織は立ち上がり、二死ながら一三塁のピンチを背負うと、続く打者の打球はライト前で弾んだ。だがこの打球をライト鈴木が落ちていた処理を見せ間一髪一塁で刺しの勢いに乗り二回、先頭の四番中谷が二塁打で出塁、無死二塁のビッグチャンス。だが、後続二人が凡打とチャンスを活かせない。しかし、続く植田がレフト線上に落ちる二塁打を放ち何とか先制点を奪った。マウスの走者を背負った一死一塁から相手三番打者に左中間を破られ同点となる三塁打を放たれるものの、後続を断ち相手に主導権を渡さない。すると四回、一死から先ほど拙い守備で涙目の中谷が快心の二塁打で準決勝進出!

レフト正面へのライナーかと思われた打球が伸び、レフトが目測を誤るほどの素晴らしい打球であった。このチャンスに吉住が一塁線を鋭く抜く三塁打で続き勝ち越し点を奪い取ると続く佐藤彰がスクイズを決め、この回2得点と試合の主導権を握った。生駒中央はさらに五回、先頭の鈴木が右中間を破る三塁打で出塁すると江本舜がライト前にタイムリ、さらに本山にも左中間を破る二塁打が飛び出し、江本が長駆本塁生還。得点差を広げていく。さらに六回、二死から鈴木が四球を選ぶと、代打の白井が安打を放ち、そこから本山・錦織と3連打を放ち2得点。試合の大勢を決めた。マウンドの錦織は最終回、2安打され二死一三塁とピンチを背負うものの最後はセカンドフライに切って取り8対1で滋賀栗東ボーイズを降した。錦織は五回を除き毎回得点を圏に走者を背負う苦しい投球となったが、無四球とテンポ良い投球で1失点で完投勝利を収めた。初出場

生駒中央ボーイズ

打順	位置	打者	一	二	三	四	五	六	打数	打点	塁	三塁	犠打
①	8	山 本 織	遊 飛	ゴ	二	ゴ	左中二	左 安	4	4	2	2	
②	1	岡 野 虎	遊 遊	ゴ	左 飛		死 球	中 安	4	3	1	1	
③	2	中 野 三	遊 遊	ゴ		二 ゴ	中 飛		3	3			
④	3	谷 田 三				右中二	左 飛	右 安	3	3	3		
⑤	4	中 鎌 吉							0	0			
⑥	5	住 住 三				右 飛	二 ゴ		3	3	1		
⑦	7	大 藤 影							0	0			
⑧	6	佐 藤 大				右 飛	投 飛	遊 飛	3	2	1	1	
⑨	5	補 藤 大				左 飛	投 飛	投 飛	3	3	1	1	
⑩	9	江 本 舜					右中三	四 球	3	1	1	2	
⑪	9	白 井					右 安	中 安	2	2	1	1	
		H4							1	1	1		

滋賀栗東ボーイズ

打順	位置	打者	一	二	三	四	五	六	打数	打点	塁	三塁	犠打
①	3	松 島 右	飛	二	一	左	飛	飛					
②	8	福 松 中	投	ゴ	中	遊	遊	遊					
③	2	松 田 中	安	ゴ	中	遊	遊	遊					
④	7	勝 本 右	安	ゴ	中	遊	遊	遊					
⑤	1	H R											
⑥	5	利 田 中											
⑦	9	久 保 中											
⑧	6	竹 藤 中											
⑨	5	H 4											
		投手	目	球数	打者	被安打	奪三塁	与四死球	失点	自責点	防御率		
		錦 織	6	67	26	6	0	0	1	0	0.00		

【写真】上から ①四回、二塁打を放つ中谷 ②勝ち越し三塁打を放った吉住 ③五回、先頭で三塁打を放った鈴木 ④五回、タイムリー安打を放った江本舜 ⑤六回、代打で安打を放った白井

【名言】夢を見るから、人生は輝く。(モーツァルト)

Never Give Up 諦めない気持ち